教員講習開設事業費等補助金審査要領

教員講習開設事業費等補助金における申請者の審査、評価及び選定を行うため審査委員会を置く。本事業の選定は審査委員会によって決定するものとし、審査委員は下記について遵守しなければならない。

記

(秘密の保持)

第1 審査委員は本審査で知り得た情報を口外してはならない。ただし、公表されている内容はその限りではない。

(利害関係者の審査)

第2 審査委員は、申請者の中に次のいずれかに該当する者がいたときは、すみやかに文部科学省総合教育政策局教育人材政策課に文書で申し出なければならない。

- ① 事業者の申請書の中に、何らかの形で審査委員自身が参画する内容の記載があった場合
- ② 審査委員が所属している機関から申請があった場合
- ③ 審査委員自身が過去5年以内に申請者から寄附を受けている場合
- ④ 審査委員自身が、過去5年以内に申請者と共同研究又は共同で事業を行い、かつそのための資金を審査委員自身が受け取っている場合
- ⑤ 審査委員自身と申請者の間に、過去5年以内に取引があり、かつ申請者からその対価を審査委員自身が受け取っている場合
- ⑥ その他、申請者（申請者が法人の場合はその役員、その他申請者の中の研究代表者または共同参加者等を含む。）との間に深い利害関係があり、当該申請者の審査を行った場合に社会通念上の疑義を抱かれるおそれがある場合

2 前項の1号から5号に該当する場合、当該審査委員はその関係を有する申請者の審査を行ってはならない。また6号に該当する場合、文部科学省は審査委員会に当該審査員の審査の可否について決定を求めなければならない。ただし、当該審査委員自ら当該申請者の審査を辞退した場合はその限りではない。

3 審査委員会は、前項の要請を受けた場合はただちに審査委員の中から委員長を選任し、当該審査委員の審査の可否について決定しなければならない。また、審査委員会は、前項の要請を拒否することもできる。

4 審査委員は、前項により審査委員会が審査を行ってはならないことを決定した場合または要請を拒否した場合はその関係性を有する申請者の審査を行ってはならない。

(不正な働きかけ)

第3 審査委員は、当該審査について不公正な働きかけがあった場合は、すみやかに文部科学省総合教育政策局教育人材政策課に報告しなければならない。

2 文部科学省は前項の報告を受けた場合は適切に対処しなければならない。